

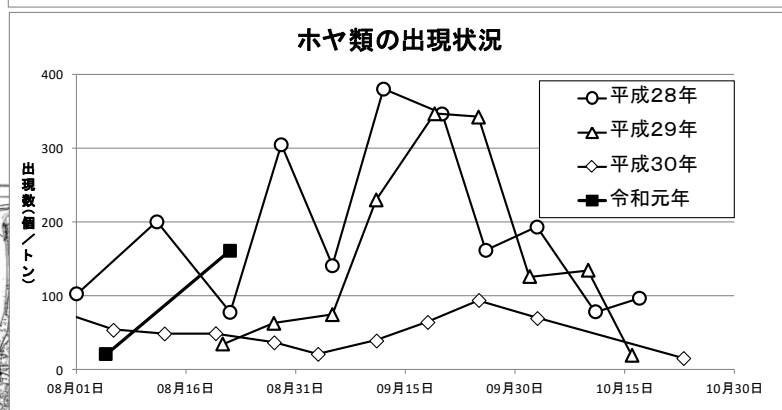
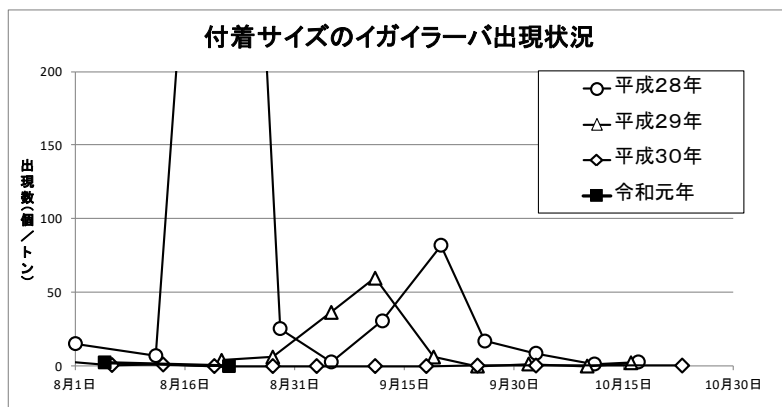
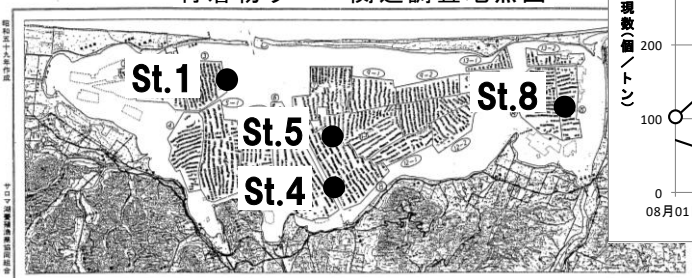
◎サロマ湖付着生物ラーバ出現状況

サロマ湖 4 地点で付着生物のラーバ調査を行いました。

その結果、イガイ(シュリガイ)ラーバは4地点平均で663.4個/トン出現し、前回(19.9個/トン)より大幅に増加しました。今回は付着サイズのラーバは見られませんが、今後付着サイズに成長するとみられます。

ホヤ類(エボヤ、ユウレイボヤ、ザラボヤ)のラーバは平均で160.8個/トン出現しており前回(20.9個/トン)よりも増加していました。

付着物ラーバ関連調査地点図



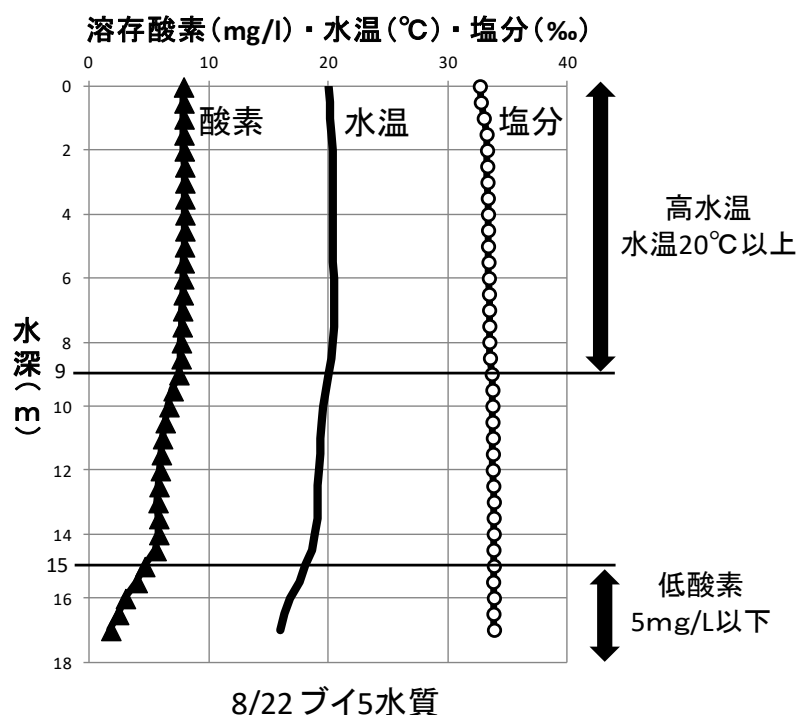
◎サロマ湖水質状況

付着物ラーバ調査点 St.5(ブイ5)の溶存酸素、水温、塩分を測定しました。

その結果、溶存酸素は15mから底まで5mg/Lを下回っていました。

水温は表面から9mまでで20°C前後で推移していました。

塩分は水面から底まで32‰以上ありました。



8/22 ブイ5水質